

編集後記

新年度の代名詞でもある「桜前線」の北上と共に、平成30年度がスタートしました。新たな門出を迎えた新入生、新入社員の方にとっては新生活への不安もあると思いますが、希望に満ちた第1歩を踏み出されたと思います。今冬、日本列島は例年にない寒さや大雪に見舞われ、都心でも4年ぶりの大雪となりました。そんな厳しい冬も終わり、ようやく迎えた春の日差しは暖かく、和らぎを与えてくれている様な感じがします。

さて、本誌103号の特集ですが「特殊条件下での発進と到達技術」を特集テーマとし、8編の特集記事が掲載されています。昭和23年、国鉄尼崎港線軌道工事において国内初の推進工事が行われました。以降、推進工法

およびシールド工法は急速な技術の発展を遂げ、現在においては施工能力の向上による高度な技術を用いた施工が行われています。このような技術の進歩は諸先輩方が培った技術を糧として、更なる技術向上を目指し邁進してきた結果、今回の特集テーマである「特殊条件下」といった難易度の高い施工条件においても対応できる技術力があると感じています。

No-Dig Todayも昨年7月に節目となる100号を発行しました。本誌の技術情報が最前線で活躍される技術者の方々への一助となる様、一編集委員として皆様のご期待にお応えできる技術情報を今後もお届けしたいと思っております。
(本誌編集委員 植木貴幸)

○機関誌編集委員会

□特別顧問

- ▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

- ▶石川 和秀
全国ヒューム管協会専務理事

□委員

- ▶植木 貴幸
(株)奥村組土木本部土木営業部課長
- ▶小川 仁
芦森工業㈱機能製品事業本部機能製品営業総括部バルテム営業部マネージャー
- ▶栗田 昌寛
(公財)水道技術研究センター管路技術部長
- ▶白川 淳一
(株)協和エクシオ土木事業本部長
- ▶寺田 祐二
東京電力パワーグリッド㈱工務部流通土木グループ管路チームリーダー
- ▶橋本 好弘
積水化学工業㈱環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長

▶人見 隆

- 中川ヒューム管工業㈱常務執行役員技術営業部長
- ▶堀地 紀行
国土館大学理工学部教授大学院建設工学専攻
- ▶森 治郎
アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部部長
- ▶山崎 義広
(株)三水コンサルタント代表取締役社長
- ▶脇田 智晴
(株)イセキ開発工機国際部課長代理

○機関誌編集企画小委員会

□特別顧問

- ▶石川 和秀
全国ヒューム管協会専務理事

□編集企画小委員

- ▶黒岩 正信
日本メックス㈱第一法人営業部担当部長

□委員

- ▶浅井 岳春
オリジナル設計㈱水インフラ本部下水道部技術1課係長
- ▶小川 仁
芦森工業㈱機能製品事業本部機能製品営業総括部バルテム営業部マネージャー
- ▶寺田 祐二
東京電力パワーグリッド㈱工務部流通土木グループ管路チームリーダー
- ▶橋本 好弘
積水化学工業㈱環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長
- ▶人見 隆
中川ヒューム管工業㈱常務執行役員技術営業部長
- ▶松尾 敬太
(株)協和エクシオ土木事業本部土木営業部門長
- ▶森 治郎
アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部部長
- ▶和内 雅弘
NTTインフラネット㈱日本事業本部7-バンデサインセンターエンジニアリング担当課長

○編集スタッフ

- 事務局長：小谷 和弘
- 編集：大屋 健・赤坂 誠

No-Dig Today

No.103 2018 Apr. 平成30年4月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会
発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975
発行人：森田弘昭
印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

©JSTT 2018 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

◇投稿

・技術論文
非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。
投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には、薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト
非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。